

2020年度 事業計画

2020年1月1日～12月31日

特定非営利活動法人シマフクロウ・エイド

はじめに

シマフクロウ・エイドのミッションは、持続可能な地域自然循環の構築により、生物多様性保全を推進し持続的な環境の保全で、北海道の自然・文化を象徴するシマフクロウが生息できる安定した未来をつくることです。

2015年に国連加盟国が採択した持続可能な開発目標（SDGs）は、持続可能な社会づくりに向けた世界共通の2030年目標です。昨年は地域や関係機関レベルでも関心が高まりました。SDGsは、当事業の横串を通すキーワードであり、引き続き各事業の実施過程において意識して取り組んでいきます。また活動の今後の展開に向けて、理事会の体制強化や運営方法の改善に取り組んでいきます。

定款の 事業名	事業内容	実施場所 実施月日	従事 者数	受益対象者の範囲及 び人数	予算
保護・保全 事業					
シマフクロウ の保護・保全 及び支援する 事業	<p>1.調査（継続事業） シマフクロウの保護保全の適切で効果的な推進に向けた調査を実施します。</p> <p>(1) 給餌のモニタリング調査：24 時間動画記録で給餌の利用状況の実態調査を引き続き通年実施し、本種の生息環境保全を進める基礎データの収集・解析に取り組みます。2019 年に得られた仮説の検証に向けた新たな調査も実施を予定しています。</p> <p>(2) 生息確認調査：昨年実施したエリアを 2010 年 1 月以降も実施します。</p> <p>(3) 繁殖確認調査：今年度のつがいの繁殖有無を確認する調査を適期に実施します。</p>	<p>釧路管内 1 か所 通年 釧路管内 7 か所</p>	<p>6 2</p>	<p>北海道に生息する本種をはじめとした多様生物。</p> <p>釧路管内に生息する本種のつが</p> <p>い。</p>	<p>助成金 守りた い寄付 支えた い寄付</p>
//	<p>2 補助給餌（継続事業）</p> <p>絶滅危惧種シマフクロウへの繁殖を補助する給餌を行うため、おさかな寄付の募集を行い、活魚の購入、専用給餌池への放流を定期的実施します。</p>	<p>釧路管内 1 か所 1 月～12 月</p>	<p>6</p>	<p>釧路管内に生息する本種の 1 つが</p> <p>い等。</p>	<p>おさか な寄付</p>
//	<p>3.生息環境の保全 生物多様性、産業、人の暮らしを支える環境インフラの持続的な保全となる取組みの定着を図ります。</p> <p>(1)植林地メンテナンス(継続事業)： 将来の生息環境保全に向け‘根付く広葉樹の育樹’の検証のため、植林地の草刈りや電気柵の整備等メンテナンスを継続実施します。</p>	<p>釧路管内 1 箇所 6-11 月</p>	<p>5</p>	<p>釧路管内に生息する本種及び多様な生物。</p>	<p>守りた い寄付</p>

<p>//</p>	<p>(2)重要環境の保全： 浜中町の関係機関等と地域の重要環境のゾーニングを行い、保全優先エリア等の検討を進めます。</p> <p>(3)SDGs に基づいた水源涵養林保全： 水辺や斜面、長期施業が行なわれていない水源涵養エリアの道有林において関係機関で協定を結び、持続可能な一次産業、生物多様性保全を視野に入れた協働による森里川海の繋がり回復に向けた計画を策定します。</p> <p>(4)人・自然・産業の共存を目指した河畔林再生： パイロット事業として「Grateful Farm 松岡牧場」の所有地における水源・水源林保全に焦点を当て、生物多様性の回復と酪農業の新たな両立を図る河畔林再生プロジェクトを開始します。地域経済の振興や人材育成にも結びつく事業展開として、生物調査や植林と並行し環境教育を実践予定。今年度は基盤となる生物調査を実施します。</p>	<p>北海道浜中町、適期</p>	<p>2</p>	<p>関係地域の生態系</p>	<p>助成金 (申請中)</p>
		<p>北海道浜中町</p>	<p>10</p>		<p>はまなか農地水保全管理交付金、うちよエココミュニケーション</p>
		<p>北海道浜中町</p>	<p>15</p>	<p>関係地域の生態系</p>	
<p>定款の事業名</p>	<p>事業内容</p>	<p>実施場所 実施月日</p>	<p>従事者数</p>	<p>受益対象者の範囲及び人数</p>	<p>予算</p>
<p>普及・啓発事業</p>					
<p>シマフクロウを入口とした環境教育事業</p>	<p>1. 環境教育 学習を通じ、シマフクロウを生態系の中心に据えて地域の産業・自然等を見直す機会を作ります。住民等も学習に参画し子供から大人まで一体となった地域づくりに役立ってます。</p>				

	<p>(1)出前授業：シマフクロウをテーマに身近な生き物のつながりを実感する「シマフクロウ学習」を希望校で実施します。</p> <p>(2)協働授業：認定 NPO 法人アサザ基金と協働で、‘人もシマフクロウも喜ぶ地域づくり学習’を実施予定。</p> <p>(3)講演・研修：ESD(持続可能な発展の為の教育)実践者を講師に迎え、浜中町の教育関係者等を対象に研修会等の開催を検討します。</p>	9月～	3	北海道浜中町の小中高校生徒及び教職員、関係機関等。	キッズ寄付
シマフクロウの保護・保全を推進する人材育成事業	<p>2.人材育成 シマフクロウを入口に環境への態度を養う人づくり社会づくりを推進します。</p> <p>講演講師：シマフクロウの保護保全、ルールマナー、環境教育、などテーマに応じ講演等を受託します。</p>	適期	4	講演会等の参加者、本種及び多様な生物	参加費
ホームページ、各種印刷物等による広報事業	<p>2. 広報（継続事業）各種広報媒体を通じ、活動告知、知識マナーの普及、支援者の増加を図ります。</p> <p>(1)ホームページ、SNS による PR: 活動広報、寄付・サポーター募集、企業 CSR との共同を引続き実施します。</p> <p>(2)各種印刷物の制作・配布： 団体パンフレット、各種啓発チラシ等を作成し関係機関等へ配布します。 会報を作成し、当団体のサポーター向け隔月に発行します。</p> <p>(3)イベントへの参加： 関連イベントに参加し活動の紹介、マナーの推進、賛同者の獲得を図ります。</p> <p>(4)メディア等による PR：各種取材に対応し活動告知、支援者獲得に努め、絶</p>	北海道浜中町、その他	3 4 10 4	国内外の不特定多数 全国のサポーター、寄付者等 不特定多数 不特定多数	企業による事業型連動寄付、会費、支えたい寄付

	滅危惧種への正しい知識や理解の普及に努めます。				
その他、上記各号に付随する事業	<p>4.上記に付随する事業 持続可能な団体運営に向けた具体的取り組みを進めます。</p> <p>(1)企業向け説明資料作成：みんなのさいわいのプロボノチームと協業で、調査データの取り纏めと、企業向け説明資料キットの更新作業に取り組みます。</p> <p>(2)頒布品の企画制作の検討を行います。</p> <p>(3)今後の活動展開を踏まえ、理事会の体制強化と運営方法の改善などに取り組みます。</p>	<p>北海道浜中町、神奈川県</p> <p>1月～8月</p> <p>7月</p> <p>1～12月</p>	<p>6</p> <p>8</p>	<p>当理事、みんなのさいわいプロボノチーム他</p>	<p>支えたい寄付</p> <p>事業収益</p>

以上